

## 倫理委員会議事概要

開催日時 令和3年7月6日（火）16:00～17:30

場 所 第2会議室

出席者 大山診療部長（委員長）、小畑事務部長（副委員長）、菅野内科医長、小原  
神経内科医長、鈴木看護部長  
工藤外部委員、中村外部委員  
（事務担当）村本管理課長

欠席：なし

記録：管理課長

進 行 申請者による倫理審査申請の説明、質疑応答  
なお、事前に申請のあった8)、9)については、関連学会への症例報告  
であるため、厚労省発出の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針  
ガイダンス」により当該倫理委員会の研究に該当しないものとして判断し  
てよい。とのことから申請取り下げ、本日の審議は全8題。

### 1. <申請者による説明後質疑応答>

#### 1) 手術室看護における症例カンファレンスの導入効果

調査対象者4名と母数が少なくあくまでも自由参加なので何名の参加で研究成果  
として成立するのか整理が必要。無記名アンケートだが、筆記だと個人が特定さ  
れるので配慮のうえ実施すること。

#### 2) カンファレンスへの身体抑制解除のための指標導入効果の検討

研究の対象は看護師と抑制をしている患者となっているが、看護師だけでよいか  
⇒看護師だけである。（記載誤り）

身体抑制解除のフローチャートはあるが指標を導入することで抑制期間が短縮で  
きるかを評価したい。

#### 3) 退院計画チェックリストを用いたカンファレンスが病棟看護師の退院支援実践力 に及ぼす効果

アンケート調査票は添付されていない。

⇒計画書の表1：病棟看護師の退院支援実践自己評価尺度を用い、在籍年数等付記して使用したい。

電子カルテにある退院計画のチェックリストが活用されていない理由は何か

⇒チェックリストはあり、記入項目はあるが経験が多くなると頭の中で退院調整をしてしまいチェックリストを記入していないため若手が活用できない状況となっている。

#### 4) 尿漏れの多い患者に対する効果的な尿取りパッドの当て方の検討

患者は6名の設定だが、協力は任意であることから同意が得られない場合はどうするのか

⇒現在の6名の候補者以外にも対象者はいるので、その患者に協力を依頼し6名での研究としたい。

看護師のアンケートはどのように実施するのか。

⇒計画書内別紙1, 3で実施

#### 5) コロナ禍による面会制限において手紙を使った患者家族のコミュニケーションの効果

患者家族に渡すアンケートが手紙を使ったコミュニケーションの効果以外の設問もあるが必要なのか。

⇒家族が面会できない状況をどのように思っているかも参考としたい。

研究項目に本件も記入したうえで、研究した方がよい。

※本項目を追記し7月7日申請書再提出済み。

対象者の患者数は何人を想定しているか。

⇒当初10人程度を想定していたが、7月からコロナワクチン2回接種済みの家族は面会可能となったので改めて設定したい。

半数で効果を判定するためなるべく母数は多くしていただきたい。

#### 6) 重症心身障害児(者)病棟における倫理カンファレンスの振り返り

倫理観をしっかりとするために小グループに分けてカンファレンスをするということか。

⇒昨年の研究結果から、意見が言いにくいとのスタッフの声があったため小グループに分けていろいろな意見を抽出できるように考えた。

7) 病棟医療従事者による病棟における薬剤師の役割の把握状況に関する調査研究  
メインの研究者はだれか  
⇒当院については自分が代表者で、弘前病院吉田副薬剤部長である。  
アンケート調査用紙に回答しない際の不利益がない旨の記載がない  
⇒アンケートに追記する。  
アンケートにより病棟薬剤師に何が期待されているのかわかるのか。  
アンケート回答者が病棟薬剤師業務がイメージできているか。  
⇒病棟薬剤師業務について知っているかについても質問項目に入れるなど工夫したい

8)、9) 申請取り下げ

10) 感情表出が困難な患者のストレス指数の確認及び患者のストレス減少に対する療育活動「スヌーズレン」の有効性の検証

スヌーズレンの効果については、スタンダードとされているが、なお、実施する意味があるのか。

⇒当院の重心病棟は3年目と日が浅いため自分達が療育していることが患者に効果があるのかを評価し今後の療育活動を見直していきたい。

5名中何名以上の同意で効果を判定するのか。

⇒半数以上で考えている。(3名以上)

測定装置は購入するのか。

⇒当院で保有しているものがあるため、それを使用したい。

## 2. <判定>

全て承認とする。

委員会での審議内容を参考に文言整理を行うこと。